



KEPServerEX[®] V6 Install Guide 日本語版

最終更新
2021 年 11 月



目次

1.	KEPServerEX V6 のクリーンなマシンへのインストール	1
2.	バージョン 5 からバージョン 6 へのアップグレード	2
3.	ライセンスを持つマシンでのバージョン 6 のインストール	3
4.	仮想化された環境でのライセンス取得	4
5.	ライセンスのリソース	5
6.	言語の変更	5
7.	テクニカルサポート	5

- **Kepware** では、**KEPServerEX** をインストールする際のセキュリティに関する推奨事項の詳細を、**Kepware Web** サイトの [Secure Deployment Guide](#) で提供しています。

Kepware は、メイン州ポートランドを拠点とする、PTC Inc. 傘下のソフトウェア開発会社です。Kepware は、企業が多様なオートメーションデバイスとソフトウェアアプリケーションを結び付け、産業用モノのインターネットを実現できるよう、ソフトウェアソリューションのポートフォリオを提供します。製造工場から坑井現場、風力発電所まで、製造、石油ガス、ビル オートメーション、電力など、さまざまな業種の幅広いお客様を支援しています。1995年に設立され、今では100カ国以上に製品を提供しているKepwareのソフトウェアソリューションは、何千もの企業が運営と意志決定を改善するお手伝いをしています。

© 2017-2021, PTC Inc. (PTC). All rights reserved.ここに記載された情報は情報提供のみを目的としており、事前の通知なしに変更される可能性があります。また、PTC が保証、約束、提案を行うものではありません。PTC、PTC ロゴ、およびすべての PTC の製品名およびロゴは、米国およびその他の国における PTC またはその子会社、あるいはその両方の商標または登録商標です。その他の製品名または企業名は、すべて各所有者の商標または登録商標です。新製品や新機能のリリース時期は予告なく変更されることがあります。

このドキュメントは、KEPServerEX V6 をインストールしてライセンスを取得するためのガイドです。マシンの履歴に基づいて、3 つの異なるインストールのシナリオがあります。

1. KEPServerEX V6 のクリーンなマシンへのインストール

このシナリオは、KEPServerEX V5 をインストールしていないユーザーが KEPServerEX V6 をインストールする場合に適用されます。

- 1 KEPServerEX インストールウィザードを起動します。
- 2 ユーザー指定言語を選択します。
 - ローカライズされたドライバーの一覧については、*Kepware 知識ベース*を参照してください。
- 3 ライセンス契約を読み、条件に同意して続行します。
- 4 「インストール先フォルダ」で、インストールディレクトリを受け入れるか、または変更します。

デフォルトのインストール先: C:\Program Files\Kepware\KEPServerEX 6\
- 5 「アプリケーションデータフォルダ」で、ディレクトリを受け入れるか変更します。

アプリケーションデータフォルダには、プロジェクトのバックアップと関連ファイルが含まれています。承認されたユーザーがアクセスできる必要があります、ユーザーが指定した任意のパスは PC に対してローカルでなければなりません。
デフォルトのインストール先: C:\ProgramData\Kepware\KEPServerEX 6\
- 6 デスクトップにショートカットを作成するかどうかを選択します。

ショートカットを使用しない場合、「スタート」メニューとサーバーの「管理」メニューを使用して構成にアクセスできます。
- 7 オプション: インストールする関連ドライバーと高度なプラグインを事前に選択するには、「Vertical Suite」を選択します。

すべてのドライバーと高度なプラグインをインストールするには「通常」を選択します。インストールするドライバーと高度なプラグインを指定するには「カスタム」を選択します。
- 8 インストールするドライバー、高度なプラグイン、またはインタフェースを選択します。

メインコンポーネントを選択すると、すべてのサブコンポーネントもインストールされます。特定のコンポーネントを表示および選択するには、適切なツリー (通信ドライバー、ネイティブクライアントインタフェース、およびプラグイン) を展開します。
- 9 インストールを続行またはランタイムに機能を使用する前に、外部依存が満たされていることを確認します。

インストールウィザードでは、選択した機能に外部依存があるかどうかを検出できます。
● 詳細は、各機能のヘルプファイルを参照してください。
- 10 動的タグアドレス指定をデフォルトで有効にするかどうか、および UA クライアントセッションに匿名ログインを許可するかどうかを指定します。

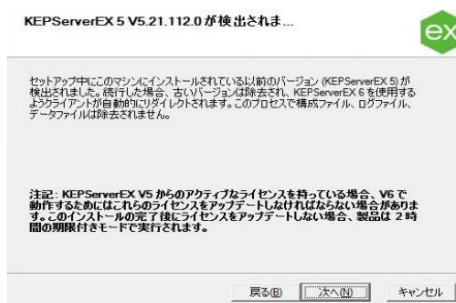
これらの設定は後で変更できますが、セキュリティに影響するため注意が必要です。
- 11 管理者アカウントには強力かつ一意のパスワードを設定することを強くお勧めします。または、この時点でパスワードの設定をスキップすることもできます。
 - 管理者ユーザーアカウントのパスワードをリセットすることはできませんが、別のユーザーを管理者ユーザーグループに追加することはできます。管理アクセス権を持っている各ユーザーに対して、一意のアカウントとパスワードを割り当てることをお勧めします。これにより、担当者が変わっても、監査の整合性とアクセス権の継続性を確保することができます。

- 12 インストールを完了します。
- 13 アプリケーションデータフォルダの **Windows** アクセス許可を設定します。
 - 詳細は、サーバーヘルプのアプリケーションデータフォルダのセクションを参照してください。

2. バージョン 5 からバージョン 6 へのアップグレード

このシナリオは、KEPServerEX V5 のライセンスなしのバージョンを実行しており、KEPServerEX V6 にアップグレードするユーザーに対して適用されます。

- 1 KEPServerEX インストールウィザードを起動します。
- 2 ユーザー指定言語を選択します。
 - ローカライズされたドライバーの一覧については、*Keeware* 知識ベースを参照してください。
- 3 ライセンス契約を読み、条件に同意して続行します。
- 4 サーバーの以前のバージョンがインストールされている場合、インストールウィザードはこれを検出できます。インストールを続行すると、既存のサーバーは除去され、すべてのクライアントは新しいサーバーに自動的に移動します。続行する場合は、製品が時間制限モード (2 時間単位) で実行されます。
- 5 「インストール先フォルダ」で、そのディレクトリを受け入れるか、または変更します。デフォルトのインストール先: C:\Program Files\Keeware\KEPServerEX 6\
- 6 「アプリケーションデータフォルダ」で、インストールディレクトリを受け入れるか変更します。
 アプリケーションデータフォルダはすべてのユーザーがアクセスできる必要があります、任意のユーザーが指定したパスは PC に対してローカルでなければなりません。デフォルトのインストール先: C:\ProgramData\
- 7 デスクトップにショートカットを作成するかどうかを選択します。ショートカットを使用しない場合、「スタート」メニューとサーバーの「管理」メニューを使用して構成にアクセスできます。
- 8 インストールするドライバー、高度なプラグイン、またはインタフェースを選択します。メインコンポーネントを選択すると、すべてのサブコンポーネントもインストールされます。。特定のコンポーネントを表示および選択するには、適切なツリー (通信ドライバー、ネイティブクライアントインタフェース、およびプラグイン) を展開します。
- 9 インストールを続行またはランタイムに機能を使用する前に、外部依存が満たされていることを確認します。インストールウィザードでは、選択した機能に外部依存があるかどうかを検出できます。
 - 詳細は、各機能のヘルプファイルを参照してください。
- 10 動的タグアドレス指定をデフォルトで有効にするかどうか、および UA クライアントセッションに匿名ログインを許可するかどうかを指定します。
 これらの設定は後で変更できますが、セキュリティに影響するため注意が必要です。
- 11 管理者アカウントには強力かつ一意のパスワードを設定することを強くお勧めします。または、この時点でパスワードの設定をスキップすることもできます。
 - 管理者ユーザーアカウントのパスワードをリセットすることはできませんが、別のユーザーを管理者ユーザーグループに追加することはできます。管理アクセス権を持っている各ユーザーに対し



て、一意のアカウントとパスワードを割り当てることをお勧めします。これにより、担当者が変わっても、監査の整合性とアクセス権の継続性を確保することができます。

- 12 インストールを完了します。
- 13 アプリケーションデータフォルダの Windows アクセス許可を設定します。
 - 詳細は、サーバーヘルプのアプリケーションデータフォルダのセクションを参照してください。

3. ライセンスを持つマシンでのバージョン 6 のインストール

このシナリオは、ライセンスのある KEPServerEX バージョン 5 を以前にインストールし、アクティブなサポートおよびメンテナンス契約を持つユーザーと持たないユーザーの両方に適用されます。

- 1 KEPServerEX V6 インストールウィザードを起動します。
- 2 ユーザー指定言語を選択します。
 - ローカライズされたドライバーの一覧については、Kepware 知識ベースを参照してください。
- 3 「ライセンスの警告」を読みます。有効な KEPServerEX バージョン 5 ライセンスがあり、アクティブなサポートおよびメンテナンス契約がない場合、インストールを続行する前に Kepware のサポート営業チームに問い合わせサブスクリプションを更新してください。インストールをキャンセルしてサブスクリプションを更新するか、KEPServerEX バージョン 5 製品を使用して続行できます。続行する場合は、製品が時間制限モード (2 時間単位) で実行されます。
- 4 ライセンス契約を読み、条件に同意して続行します。
- 5 サーバーの以前のバージョンがインストールされている場合、インストールウィザードはこれを検出できません。インストールを続行すると、既存のサーバーは除去され、すべてのクライアントは新しいサーバーに自動的に移動します。続行する場合は、製品が時間制限モード (2 時間単位) で実行されます。
- 6 「インストール先フォルダ」で、インストールディレクトリを受け入れるか、または変更します。

デフォルトのインストール先: C:\Program Files\Kepware\KEPServerEX 6¥

● 注記: この処理中には、構成、ログ、またはデータファイルは除去されません。

- 7 「アプリケーションデータフォルダ」で、インストールディレクトリを受け入れるか変更します。

アプリケーションデータフォルダは承認されたユーザーがアクセスできる必要があります、任意のユーザーが指定したパスは PC に対してローカルでなければなりません。デフォルトのインストール先: C:\ProgramData¥

ライセンスの警告

続行した場合、既存の製品ライセンスが無効になる可能性があります。



現在のサブスクリプションライセンスの範囲に含まれていないバージョンにソフトウェアをアップデートしようとしています。続行する前に、営業サポート担当者までご連絡の上、サブスクリプションを更新してください。このアップデートを続行した場合、この製品は期限付きのデモモードで動作します。

- インストールを続行し、この製品を期限付きのデモモードで使用します。
- キャンセルしてアップデートインストールを終了し、ライセンスされている製品を引き続き使用します。

KEPServerEX 5 V5.21.112.0 が検出されま...



セットアップ中にこのマシンにインストールされている以前のバージョン (KEPServerEX 5) が検出されました。続行した場合、古いバージョンは除去され、KEPServerEX 6 を使用するようクライアントが自動的にダイレクトされます。このプロセスで構成ファイル、ログファイル、データファイルは除去されません。

注記: KEPServerEX V5 からのアクティブなライセンスを持っている場合、V6 で動作するためにはこれらのライセンスをアップデートしなければならない場合があります。このインストールの完了後にライセンスをアップデートしない場合、製品は 2 時間の期限付きモードで実行されます。

- 8 デスクトップにショートカットを作成するかどうかを選択します。
ショートカットを使用しない場合、「スタート」メニューとサーバーの「管理」メニューを使用してのみ構成にアクセスできます。
- 9 インストールするドライバー、高度なプラグイン、またはインタフェースを選択します。
メインコンポーネントを選択すると、すべてのサブコンポーネントもインストールされます。特定のコンポーネントを表示および選択するには、適切なツリー (通信ドライバー、ネイティブクライアントインタフェース、およびプラグイン) を展開します。
- 10 インストールを続行またはランタイムに機能を使用する前に、外部依存が満たされていることを確認します。
●インストールウィザードでは、選択した機能に外部依存があるかどうかを検出できます。 *詳細* は、各機能のヘルプファイルを参照してください。
- 11 動的タグアドレス指定を有効にするかどうか、および UA クライアントセッションに匿名ログインを許可するかどうかを指定します。
これらの設定は後で変更できますが、セキュリティに影響するため注意が必要です。
管理者アカウントには強力かつ一意のパスワードを設定することを強くお勧めします。または、この時点でパスワードの設定をスキップすることもできます。
● 管理者ユーザーアカウントのパスワードをリセットすることはできませんが、別のユーザーを管理者ユーザーグループに追加することはできます。管理アクセス権を持っている各ユーザーに対して、一意のアカウントとパスワードを割り当てることをお勧めします。これにより、担当者が変わっても、監査の整合性とアクセス権の継続性を確保することができます。
- 12 アプリケーションデータフォルダの **Windows** アクセス許可を設定します。
詳細は、サーバーヘルプのアプリケーションデータフォルダのセクションを参照してください。
- 13 ライセンスをアップグレードします。
KEPServerEX バージョン 6 のインストールでは、バージョン 5 のライセンスをバージョン 6 にアップグレードするための情報を含むドキュメント「KEPServerEX バージョン 6 のライセンス」が自動的に開きます。製品は、アップグレードされるまで時間制限モード (2 時間単位) で実行されます。
●注記: そのライセンスを認証する前に、機能をインストールする必要があります。

● *Kepware* では、KEPServerEX をインストールする際のセキュリティに関する推奨事項の詳細を、*Kepware Web* サイトの [Secure Deployment Guide](#) で提供しています。

4. 仮想化された環境でのライセンス取得

仮想化された環境で *Kepware* 製品を使用しているときに、ライセンスのバインドが予期せず解除されないようにするには、次の参考資料を確認してください。

- ベストプラクティスガイド
<https://www.kepware.com/en-us/support/knowledge-base/2018/can-i-license-kepserverex-on-a-virtual-machine-cl/>
- 知識ベースのアーティクル
<https://www.ptc.com/en/support/article/CS286615>

5. ライセンスのリソース

詳細な技術情報、および KEPServerEX バージョン 6 のライセンスに関する手順は、ライセンスユーティリティの製品マニュアルを参照してください。これにアクセスするには、いくつかの方法があります。

1 KEPServerEX 構成を使用

- 「ヘルプ」 | 「サーバーヘルプ」をクリックします。
- 左側のウィンドウで、「ライセンスユーティリティ」をダブルクリックします。

2 ライセンスユーティリティを使用

- システムトレイ内にある「KEPServerEX」アイコンを右クリックし、「ライセンスユーティリティ」を選択します。
- 「ヘルプ」をクリックします。

3 管理メニューを使用

- システムトレイ内にある「KEPServerEX」アイコンを右クリックし、「ヘルプ」を選択します。
- 左側のウィンドウで、「ライセンスユーティリティ」をダブルクリックします。
- **注記:** ライセンスの追加リソースにアクセスするには、<https://www.kepware.com/support/licensing/>を参照してください。

6. 言語の変更

KEPServerEX の言語は、インストール後にいつでも変更できます。

- 1 システムトレイ内にある「KEPServerEX」アイコンを右クリックし、「設定」を選択します。
 - 2 「管理」タブにアクセスし、「製品言語の選択」ドロップダウンメニューから言語を選択します。
- **注記:** ユーザー定義のチャンネル、デバイス、およびタグ名は、言語の変更時には翻訳されません。

7. テクニカルサポート

ご質問がある場合、サポートおよびメンテナンス契約を結んでいるお客様は、Kepware の経験豊富なテクニカルサポートチームにより、電話、電子メール、Web を通じて優先的にサポートを受けることができます。製品情報とライセンス認証 ID を準備しておいてください。テクニカルサポートのすべての機能を利用するには、MY Kepware アカウントを使用してサインインしてください。アプリケーションエンジニアによる購入前のサポートも、ご要望に応じてご利用いただけます。